

こんにちは♪ 先日「本屋大賞」のノミネート作の発表がありましたので、紹介します。本屋大賞というのは、全国の書店員がいちばん売りたい本を選ぶ賞で、エンターテインメント小説の賞としてはかなり信頼できる賞になっています。ちなみにこれまでの受賞作は、小川洋子『博士の愛した数式』、恩田陸『夜のピクニック』、リリー・フランキー『東京タワー』、佐藤多佳子『一瞬の風になれ』、伊坂幸太郎『ゴールデンランバー』、濱かなえ『告白』、冲方丁『天地明察』、東川篤哉『謎解きはディナーのあとで』、三浦しをん『舟を編む』、百田尚樹『海賊とよばれた男』、上橋菜穂子『鹿の王』、宮下奈都『羊と鋼の森』、恩田陸『蜜蜂と遠雷』、辻村深月『かがみの孤城』、瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』、凧良ゆう『流浪の月』、町田そのこ『52ヘルツのクジラたち』、逢坂冬馬『同志少女よ、敵を撃て』、凧良ゆう『汝、星のごとく』！ 本が好きなひとは「うんうん」でしょうか？ さて、今回はどの作品が選ばれますか。今号では、ノミネートされた 10 作品のうち、オススメの本をセレクトして紹介します。ハズレなしだよ！ 「面白い本」を探しているキミは、ぜひ手に取ってみてください！

「本屋大賞」ノミネート作！

『存在のすべてを』 塩田武士

イチオシ！ 平成3年の「二児同時誘拐事件」。厚木で小6の男子が誘拐され、警察が総掛かりでその対応に追われるなか、今度は横浜で4歳の男児誘拐事件が起きる。前代未聞の事態。厚木がおとりで横浜が本命か。一つ目の事件の男児は無事保護されるが、二つ目の事件で身代金が犯人にうまく渡らず男児・亮は戻らなかった。ところが、その3年後にひょっこりと亮は自分の足で帰ってくるのだった。亮の家庭は特殊で、母親は父親と別居し、育児放棄状態で実の子供が誘拐されても無関心で、警察が動こうにも彼の写真一枚ない状態。裕福な祖父母が身代金も用意し、その家に7歳に成長して帰ってきたのだった。それから三十年後の令和3年から本編。「写真」のイケメン画家・如月脩きさらぎしゅうが、実はあの誘拐事件の亮であることが、写真週刊誌によって明かされる。戻ってきた7歳の亮は、身なりがきれいで、読み書きができ、画力が向上して、きちんと育てられた様子が見受けられた。「空白の3年」。彼は何者かに愛されて育ったのではないか。自らの美術画廊をスタートさせようとしている里穂もその記事を見た。里穂の高校時代の初恋の人だった…。

『成瀬は天下を取りに行く』 宮島未奈

デビュー作ながら、ダ・ヴィンチやキノベス！ほか、なんと九冠でランキングを席卷！「わたしはこの夏を西武に捧げようと思う」。中2の1学期の最終日、また成瀬がおかしなことを言い出した。いつだって成瀬はすごくて変だ。幼稚園のころからほかの園児とは一線を画していて何でもできたし、小学校の卒業文集に書いた将来の夢は「二百歳まで生きる」だった。「わたしはシャボン玉を極めようと思うんだ」と言うや、夕方のローカル番組「ぐるりんワイド」に出演するところまで行ってしまう。西武に捧げるとは、毎日西武に通うということだ。地元民からこよなく愛されてきた大津市唯一のデパート、西武大津店が八月いっぱいまでクローズしてしまう。「ぐるりんワイド」で生中継をするから、毎日通ってテレビに映りこむのだという…。「わたしはお笑いの頂点を目指そうと思う」。「かつてなく最高」の主人公、成瀬のキャラがいいのはもちろん、M-1目指してコンビを組まされてしまう、幼なじみの島崎との距離感がいいです！続編の続編、『成瀬は借じた道をいく』もオススメ！

『星を編む』 凧良ゆう

『流浪の月』に続く二度目の本屋大賞受賞作『汝、星のごとく』待望のスピノフ続編！二人がとってもお世話になった、あの北原先生の秘められた過去、知りたかったですよね！経済的な理由から、北原は大学院を辞め、地元の高校の先生になった。そこで、市内で名の通った大きな病院・明日見総合病院の一人娘である明日見菜々と出会う。彼女が深夜、スノーボードのハーフパイプの選手である彼と一緒にいて、警官に詰問されそうになったところを、機転を利かせて助けてあげたのだ。以前、明日見総合病院で具合が悪くなった父の世話をしてくれた恩を返したつもりだった。翌日、お礼を言いに来た明日見さんにそのことを告げると、彼女もあの時助けられたのだという。実はあの日は、「お見合い」だった。病院を継いで、財産を守っていけると、明日見家のお眼鏡にかなった優秀な医師を何人も紹介された。その場から逃げ出す口実になったのだそうだ。敦くんにつきあっていることは秘密で、父に知られたら大変なことになる。でも、いつかは父の庇護下から抜け出して、自立して自分でお金を稼いで、好きな人と暮らしたいと彼女は語った…。「敦くんには自由に、思いのまま、生きてほしいんです」。ほかに、権が残した小説の刊行と、抹殺されてしまったマンガの復刊に向けて、敏腕編集者二人が共闘する表題作、島でともに年を重ねていく暁美と北原先生のその後を描いた一編を収録。

『黄色い家』 川上未映子

ブランチ BOOK 大賞！ キノベス！でも第2位！「このさき、自分がどこで生きることになっても、何歳になっても、どうなっても、彼女のことを忘れることはないだろう」。そう思っていた、四十歳になって惣菜屋で働いている花は、ネット記事で黄美子きみこの名前を見つけ、彼女のことを何もかも忘れていたことに気づいた。二十年くらい前に、まだ若かったころの数年間を一緒に暮らした黄美子さん。黄美子さんは、二十代の女性を1年3ヶ月にわたり監禁し、暴行を加え、傷害の罪に問われていた。彼女との出会いは、十五歳の夏だった。目を覚ましたら、スナックで働き二人暮らしをしている母の代わりに、眠っていたのだ。その日から夏休みのひと月を二人で暮らした。ずっとこんなふうにご過ごせたらいいと思っていたけれど、ある日突然黄美子さんはいなくなってしまう。冷蔵庫を食べものでぎゅうぎゅうにして。花は高校を卒業したらすぐ家を出ようと安い時給でバイトに明け暮れていたが、必死で貯めていたお金を母の恋人に奪われてしまう。絶望した花は黄美子さんと再会する。「わたしと一緒にくる？」花は高校を辞め、黄美子さんと一緒に「れもん」という名のスナックを開店することになる…。

『スピノザの診察室』 夏川草介

「たとえ病が治らなくても、仮に残された時間が短くても、人は幸せに過ごすことができる。できるはずだ」。『神様のカルテ』の著者が確実にネクスト・フェイズへと移行した感動作！「マチ先生」とみなから親しまれる雄町哲郎おまちてつろうは、京都の町中にある小さな地域の病院で働く内科医だ。実はマチ先生は、「町の病院」に収まるような器ではない。かつては大学病院で数々の難手術を成功させ、将来を嘱望されていた凄腕の医師だったのである。ところが、三十代の後半に差し掛かろうとしたころ、最愛の妹が若くしてこの世を去り、残されて天涯孤独の身となった甥の龍之介とともに暮らすために、ここに新たな勤め先を求めたのだ。指導医として若手医師をまとめる位置にいた彼の退局は許されるものではなかった。タイトルにあるスピノザは、人間はとても無力な生きもので、人間の意志では何も変えられない。だが、“だからこそ”努力が必要だと説いた哲学者です。マチ先生も医療にたいした期待も希望も持っていないけれど、世界にはどうにもならないことが山のようにあふれているけれど、それでもできることはあるんだと信じています。命を看取るとき彼は「これで良かったのか」と考えないようにしているのだそうです。ただ言えることは一つだけ、「本当にお疲れ様でした」。

『レーエンデ国物語』 多崎 礼

『獣の養者』『火狩りの王』に続く、圧倒的に面白くて大人にこそ読んでもらいたい和製ファンタジー！「彼の掌は白く、その微笑みは三日月のようだった。細面の顔は整然として冷たく、なのにどこか寂しげで、ぞくりとするほど妖艶だった。夜を思わせる浅黒い肌、闇を思わせる昏い瞳。恐ろしいのに、心惹かれる。美しく謎めいていて目が離せない。ユリアは思った。ああ、この人はまるでレーエンデそのものだ」。幼いころの約束どおり、ユリアは英雄である父親・ヘクトルと二人だけで「呪われた地」レーエンデを訪れた。父が語っていたように夢のように美しいレーエンデが「呪われた地」と呼ばれるのは、この地にしかない風土病「銀呪病」のためだった。特効薬も治療法もない不治の病である。レーエンデには満月の夜に幻の海が出現する。森に銀色の霧が流れこみ、木々のあいだを半透明の異形の魚が泳ぎだす。満月の夜には決して外に出てはいけない。この幻の海に吞まれた者は、やがて銀呪病を発症し、全身を銀の鱗に覆われて死を迎えるのだ。銀呪に罹っても、動物や虫や植物は銀色のからだで生き続けるのに…。古代樹の洞で暮らすレーエンデの住人・ウル族に迎え入れられた二人は、案内人に生粋のウル族ではないトリスタンを紹介される。ラノベさながらの「なかよし」になった3人の暮らしは、いつまでも続くかのように思われたが…。これぞ、ファンタジー！ シリーズ化！

『リカバリー・カバヒコ』 青山美智子

『お探し物は図書室まで』、『赤と青とエスキース』、『月の立つ林で』と本屋大賞ノミネート常連の青山さんの最新作。「カバヒコってね、すごいんだよ。怪我とか病気とか、自分の体の治したい部分と同じところを触ると回復するって言われてるの」「人呼んで、リカバリー・カバヒコ」「……カバだけに」。高台に新しく建てられた高級分譲マンション、アドヴァンス・ヒルの近くには、昔ながらの小さな公園・日の出公園があり、そこにはオレンジ色の塗料がめっきり剥がれてしまったカバの乗り物がある。泣いているような瞳をした間の抜けたそのカバには、とある都市伝説があった。自分の体の壊れてしまった部分と同じところを触るとリカバリー（回復）するといふのだ。傷ついた人々は、このとぼけた表情のカバに話しかける…。

♡バレンタインに本を借りると、お菓子がもらえます！